



Model S3 / S3w / S2 BTE

取扱説明書(耳かけ型)

警告 取り扱いを誤った場合、人の死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意 取り扱いを誤った場合、人が損傷を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容です。

安全にお使いいただくために



警告

- 補聴器本体を、幼児やペットの手の届かないところに保管してください。
- 補聴器本体を、爆発性の環境に持ち込まないで下さい。
- 補聴器本体またはイヤチップなどを誤って飲みこまないように十分注意して下さい。
- もし飲み込むような事故があった場合は、直ちに医師にご相談ください。

注意 ●直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、車の中など、高温になりやすい環境に補聴器本体及び電池を長時間置かないでください。

- MRIスキャンは強い磁力を用いる為、故障の原因になります。MRI室には補聴器を持ち込まないでください。
- レントゲン撮影やCTスキャンなどの画像診断機器は補聴器に悪影響を及ぼす為、撮影時には補聴器を外してください。
- 補聴器を電子レンジで乾かさないでください。内部の電子部品が破壊されてしまいます。
- 浴室など、湿気の多い場所に補聴器本体及び電池を放置しないでください。
- 分解、改造などはしないでください。修理の際は、お求めになられた販売店にご相談ください。
- 電池のフタを無理に開けたり、閉じたりしないでください。故障の原因になります。

各部のなまえと操作方法

高度用の補聴器としてご使用できます。

イヤフック

マイク

シーソースイッチ

電池のフタ

補聴器型名

Model S3
Model S3w
Model S2

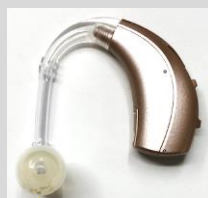
製造番号

写真左:

標準フック使用時

写真右:

スマートイヤチューブ使用時



標準フック+耳栓



スマートイヤチューブ+耳栓

ストッパー(リテンション)



注意

- 耳栓は弊社純正品をご使用ください。
- 純正品以外をご使用の場合、脱落する恐れがあります。

1. 電源の入/切



電源入

電池を電池のフタに入れ、閉めると電源が入ります。

電源切

電池のフタを開けると、電源が切れます。



注意

- 電池を入れたままにすると、電池寿命が極端に短くなります。
- 補聴器を使用しない時は、電池のフタを半開きにして、電源を切ってください。

2. ボリュームの調整



シーソースイッチの上側を押すと大きくなり、下側を押すと小さくなります。



警告

- ボリュームを上げすぎると、内耳に損傷を与える恐れがあります。販売店にて指定された位置で使用して下さい。

3. メモリーの切換え

メモリー1

※電源を入れた時は、メモリー1の状態です。

メモリー2

シーソースイッチの上側を押すと、次のメモリー設定に切り変わり、シーソースイッチの下側を押すと、1つ前のメモリー設定に切り変わります。

メモリー3

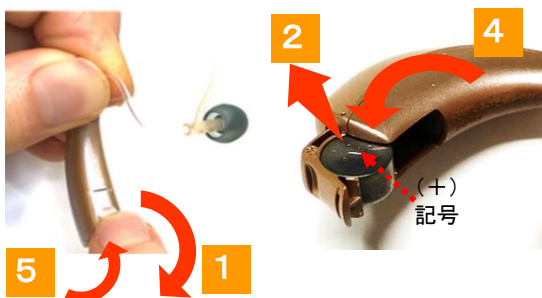
メモリー4



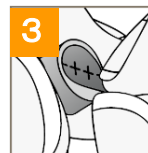
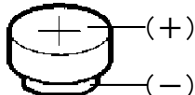
注意

- ボリューム調整とメモリー切換えを兼用させる場合、シーソースイッチを長押しして、メモリー切換えを行います。
- 設定については、販売店にご相談ください。

電池を交換するには



交換用電池



1

電池のフタの突起部分に爪をあて、引くように開けます。

2

使用済みの電池を取り出します。

3

電池のシールを剥がします。

4

電池のフタには(+)記号が表示されています。電池の(+)記号がついている面を同じ向きにして入れます。

5

電池のフタをもとどおりに閉めます。



警告

- 電池は幼児やペットの手の届かない所に保管してください。
- 電池を誤って飲み込まないように十分注意してください。
- 飲み込んでしまった場合、直ちに医師の診断を仰いでください。



注意

- 電池シールは使う直前にはがしてください。
- 使用済み電池はゴミとして捨てずに、販売店にお持ちください。

補聴器	ご使用の電池 / シールの色
Model S3 / S3w / S2 BTE13	PR48(13) / オレンジ色

補聴器を装着するには



イヤチップを耳の穴に入れます。



補聴器本体を耳の上に置きます。

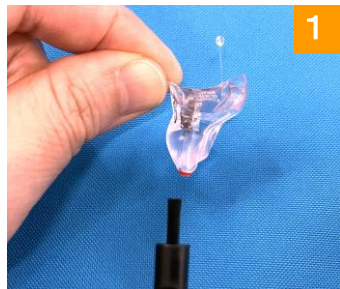


リテンションを指でつまみ耳のくぼみに固定します。
※ストッパーがある場合



装着完了です。

お手入れをするには



1 音の通り道となる耳栓・イヤモールドやマイクを、付属のブラシや綿棒を使い、付着している耳垢やホコリを取除き、目詰まりを解消します。



2 汚れや水分をふき取る場合、柔らかい布やティッシュなどで、耳栓・イヤモールドやイヤチューブの内部に水分が残っていないことを確かめます。

※結露により、イヤチューブの内部水滴が出来る場合があります。



3 イヤモールドとチューブが元の適切な向き・位置になるように調整します。



注意 ●耳栓やイヤモールドには、使用状況によりカビが発生することがあります。こまめにお手入れをお願いします。

おかしいと思ったら

ご注意ください：本製品は、補聴器フィッティングの際のコンピュータとの接続に2.4GHz無線を使用しています。一部のスマートフォン端末が無線に反応する場合がありますが、補聴器と通信はできませんので、端末との接続は控えください。

症状	考えられる原因	対処法
音が聞こえない	○電池切れ	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	○耳栓・マイク孔の目詰まり	○耳栓・マイク孔を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
ピーピー音がする	○補聴器が正しく装着されていない	○正しく装着してください。※「補聴器を装着するには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音がとぎれる	○電池の消耗	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
音が小さい	○電池の消耗	○電池を交換してください。※「電池を交換するには」参照
	○レシーバ孔の目詰まり	○レシーバ孔を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	○マイク開口部の目詰まり	○マイク開口部を掃除してください。※「お手入れをするには」参照
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。
電池交換後、電池のフタが閉まらない	○電池の極性が逆	○正しい向きに入れてください。※「電池を交換するには」参照
	●補聴器内に異物	●販売店にご相談ください。
	●機械的な故障	●販売店にご相談ください。

医薬品医療機器等法第63条
の規定による表示

製造販売業者名：スターキージャパン株式会社 認証番号：231ADBZX00014000
住所：神奈川県横浜市港北区新横浜2-6-23 製造番号：製品本体記載
区別：管理医療機器 販売名：スターキー耳かけ型3
一般的名称：耳かけ型補聴器

